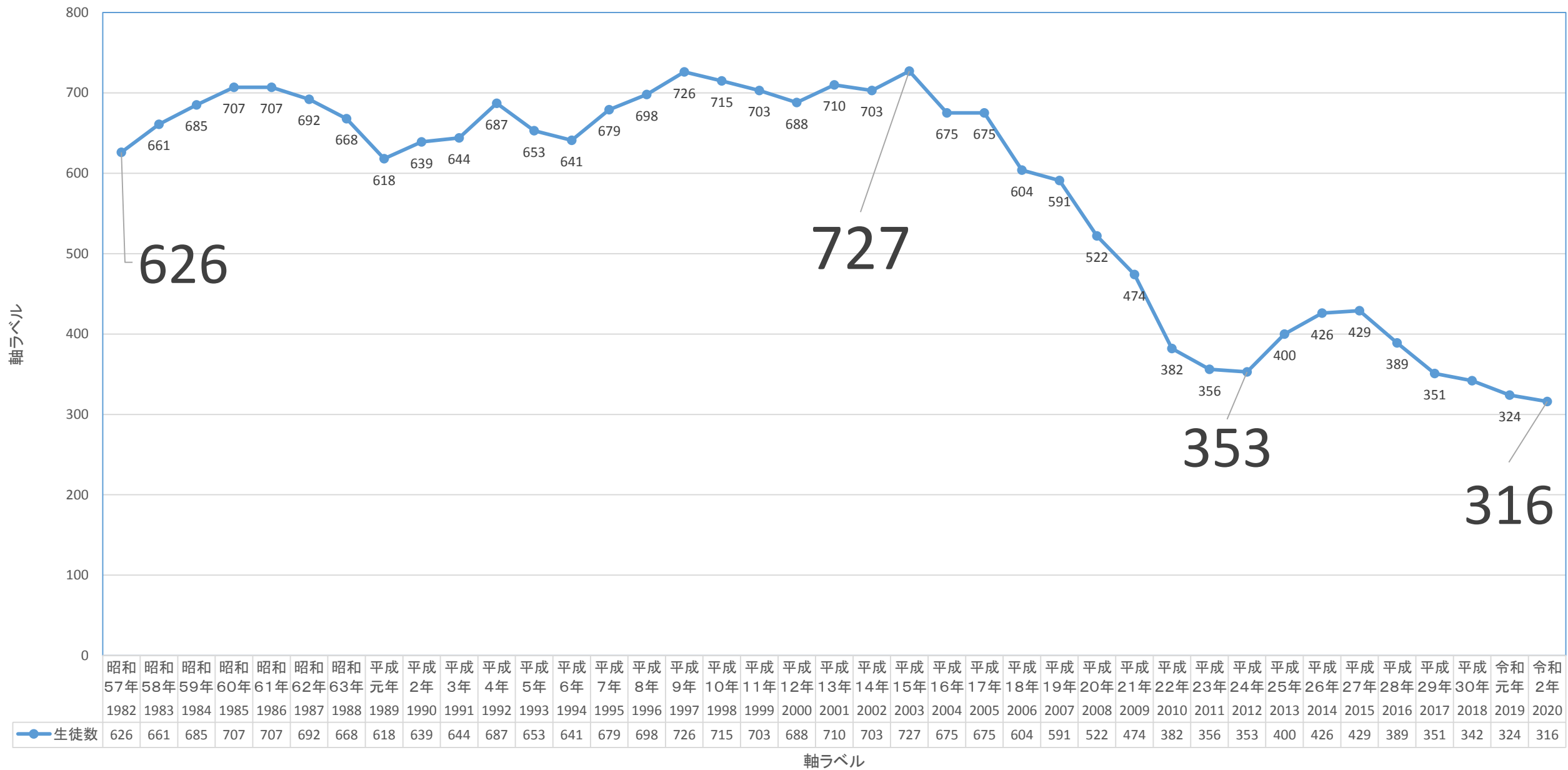


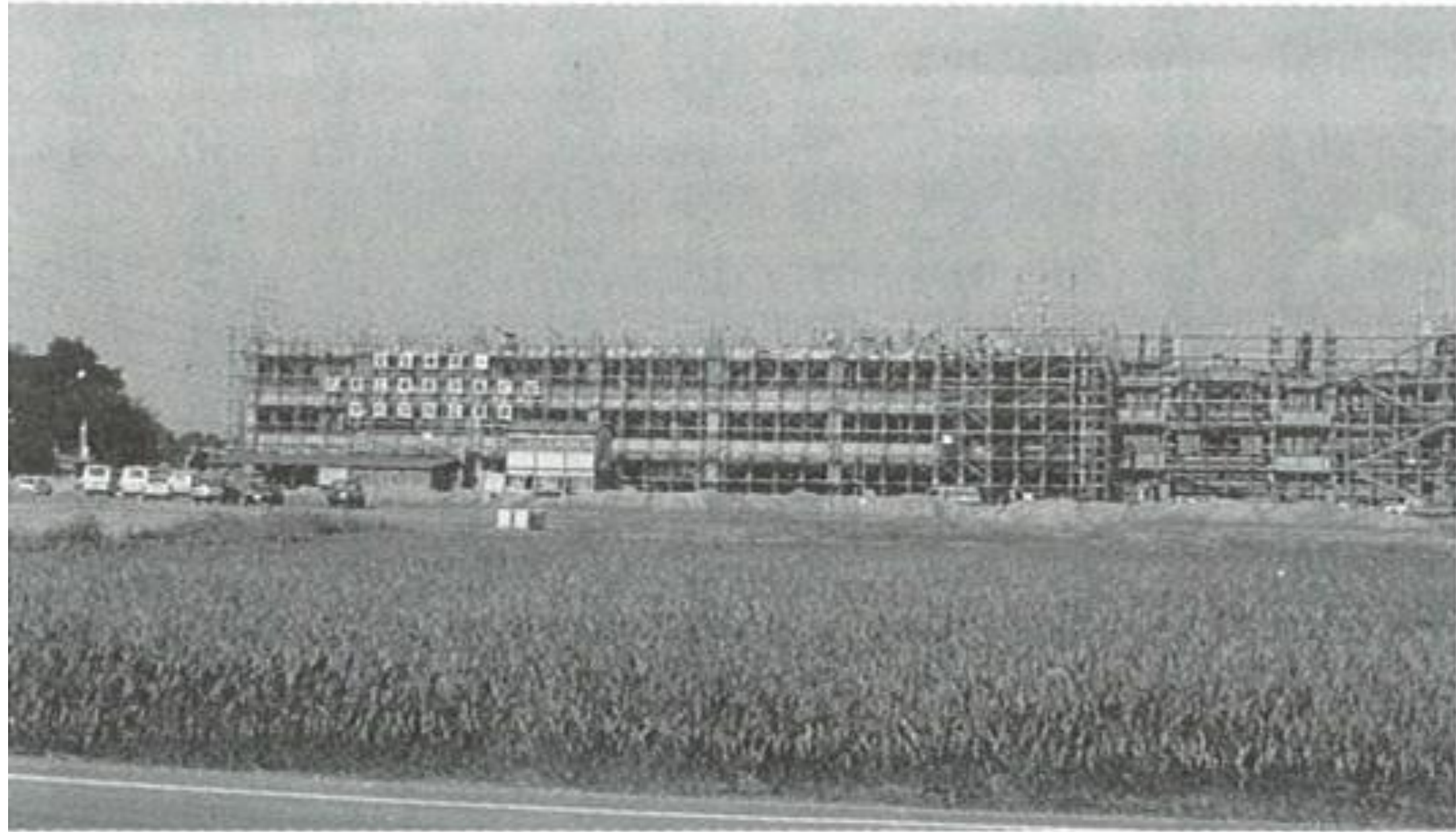
宮内中学校物語

～自立貢献の歴史～

生徒数







56 年 10 月 校 舍 建 設

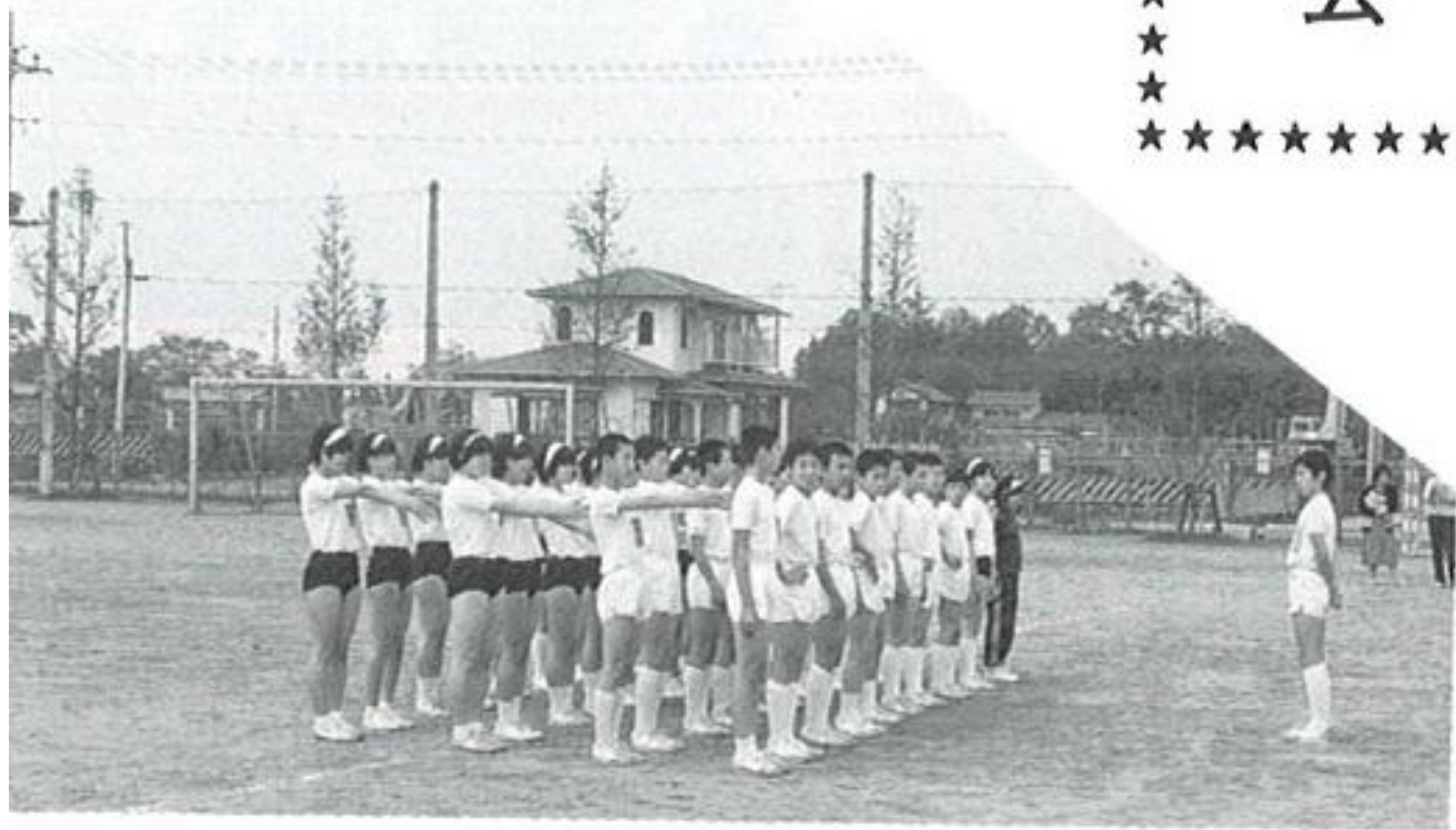


6月9日 くすの木植樹



6 月 11 日 竣 工 式

会



10 Km マラソンに挑戦

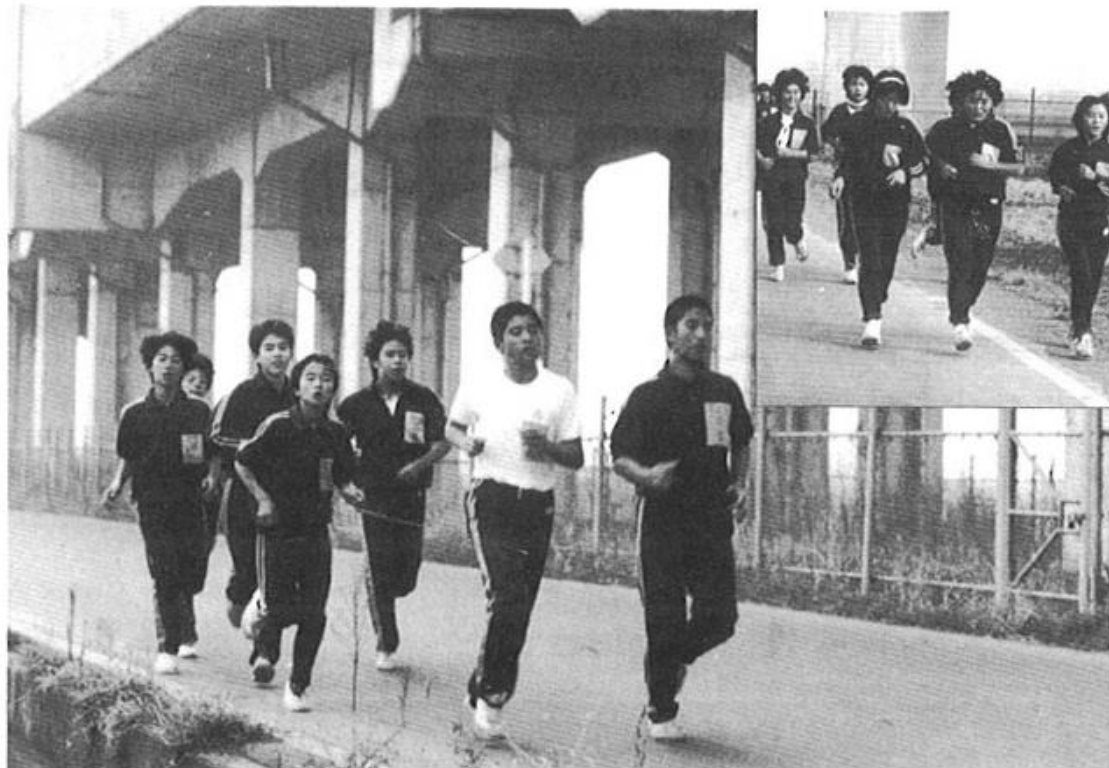
|| 12月13日 ||

堀 川 修

長距離を自己の能力に応じ一定のペースで走り通す、強健な身体と旺盛な気力を養うというねらいをもって、今年度は男子10 km 女子7.5 km のロードレースということで大会が開かれました。今年度は、いままでの倍の距離なので、全員最後まで完走できるのかとか、半数ぐらゐは途中で歩くのではないかと、当日、見学者が多数でるのではないだろうかと、体育科の職員も心配しました。

しかし、当日の生徒の走る姿はだれも真剣そのものでこの長い距離にもかかわらず、途中歩いている生徒はほとんど見られず、見学者もほとんどいませんでした。しかも、男子の一位が37分、女子が32分と好成績で本校のまじめさが全面に出ていたようでした。

この経験を将来健康で何事にもくじけない意志として、いろんな方面に生かしてもらいたいと思っています。(みやうち15号より)



ハレー彗星観望会

島田 勉

七十六年ぶりにやってくるハレー彗星が、最接近するこのチャンスを逃してはならないと、生徒・保護者を対象に宮内中屋上にて、観望会を開くことになった。理科部員の大沢・藤村・柳田先生の他、校長・教頭・鈴木の諸先生も来てくれた。三時から視聴覚室にて大沢先生による説明会をやった後、屋上へ。夜半のことなので親子同伴で希望をとったが、百名近くの参加者あり。風もほぼ止み、快晴の絶好の状態となったが、あいにく南東（東京・大宮）方向の空が明るく、彗星の観望はだめだった。土星や木星を観ているうちに東



4月6日 午前3時～5時
（宮内中屋上にて）

の空が明るくなり、五時頃には星が見えなくなった。流れ解散的に参加者は帰っていった。ハレー彗星が見られず残念であった。七十六年後の次回はず無理だろうが、一度は見たものである。

— 日記より —

校木
くすのき



左右の葉（男子・女子生徒）くすのきの実で手を結ぶ



宮内中学校校歌英語版



SCHOOL SONG OF MIYAUCHI

大地にくすのき 天に風

The camphor tree on the land
Breeze from the sky

春の思いのかおる日を

The smell of the spring

知恵をみがき 創造の力あふれ

Growing wise, full of creation

いのちのふるさと 宮内に

Home of our lives, Miyauchi

夢をかかげて 立つ我ら

We're standing with dreams

豊かなこころよ 愛ふかく

Richness in mind with deep love

自主の学びや 湧く勇氣

Independent learning,
encourages us

共に励み 助け合い 共に実り

Rivals, friends, cooperate and
carry the day together

若葉の青春 たくましく

Spring new leaves with vigor

歌え 望みを いま友よ

Sing your hopes, now my buddy

みどりの北本 わがまちに

Kitamoto, our nature town

生きて 光を身に浴びて

Be alive, bask in the sun

花とひらき 清純の 虹を飾り

Bloom like a flower, decorate
with rainbow of innocence

未来を求めて かぎりなく

In search of the unlimited future

すすむ 宮内 わが母校

Move on Miyauchi, our alma
mater

宮内中学校物語

完